

●南海トラフ沿いの地震活動

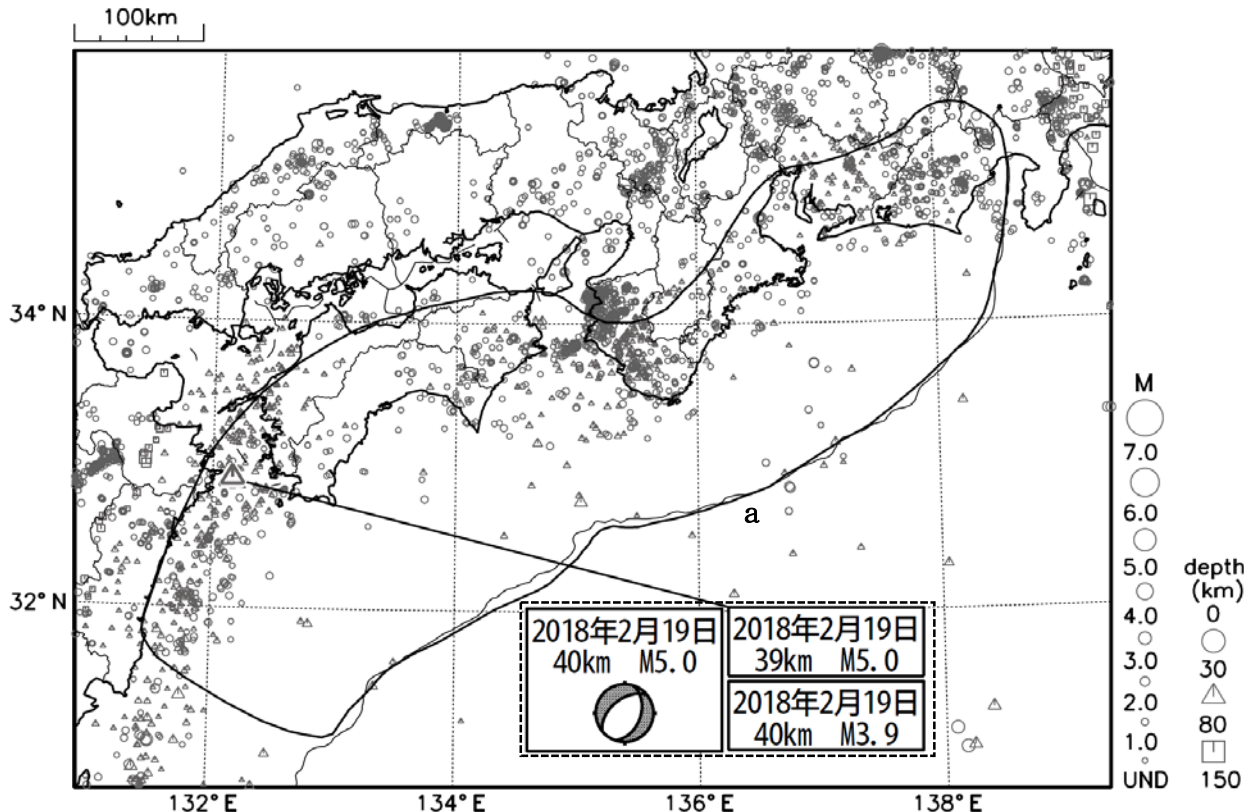


図1 震央分布図（2018年2月1日～2月28日、深さ0～150km、Mすべて、図中の領域aは、南海トラフ巨大地震の想定震源域）
※図中の吹き出しは、領域a内のM3.5以上、それ以外の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の主な地震

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺：M3.5以上の地震及びその他の主な地震

月/日	時:分:秒	震央地名	深さ (km)	M	最大震度	発生場所
2/19	03:31:36	豊後水道	40	5.0	4	フィリピン海プレート内部
2/19	03:31:40	豊後水道	39	5.0		フィリピン海プレート内部
2/19	03:35:21	豊後水道	40	3.9	2	フィリピン海プレート内部

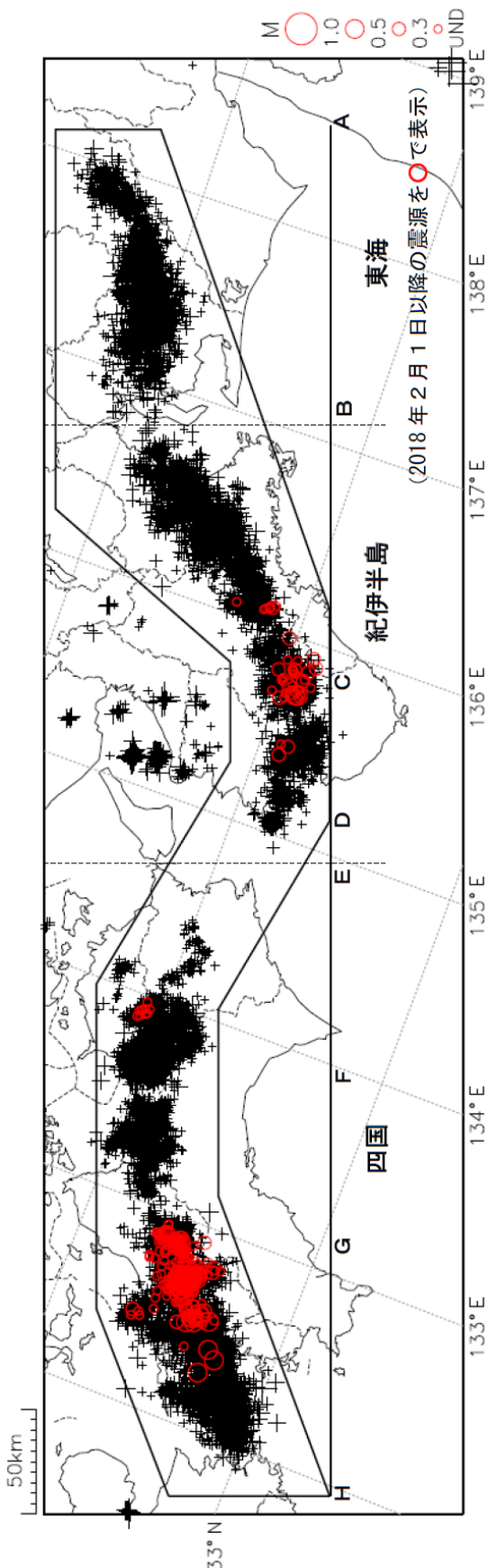
○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
2月16日～17日 2月19日～21日 2月21日～（継続中）	<u>2月11日～15日</u>	

※深部低周波地震（微動）活動期間は特定の場所での一連の活動期間を記載する。
※深部低周波地震（微動）活動と同期してひずみ変化が観測された活動（期間）に下線を付している。
※深部低周波地震（微動）活動の地域は、次頁で示している。

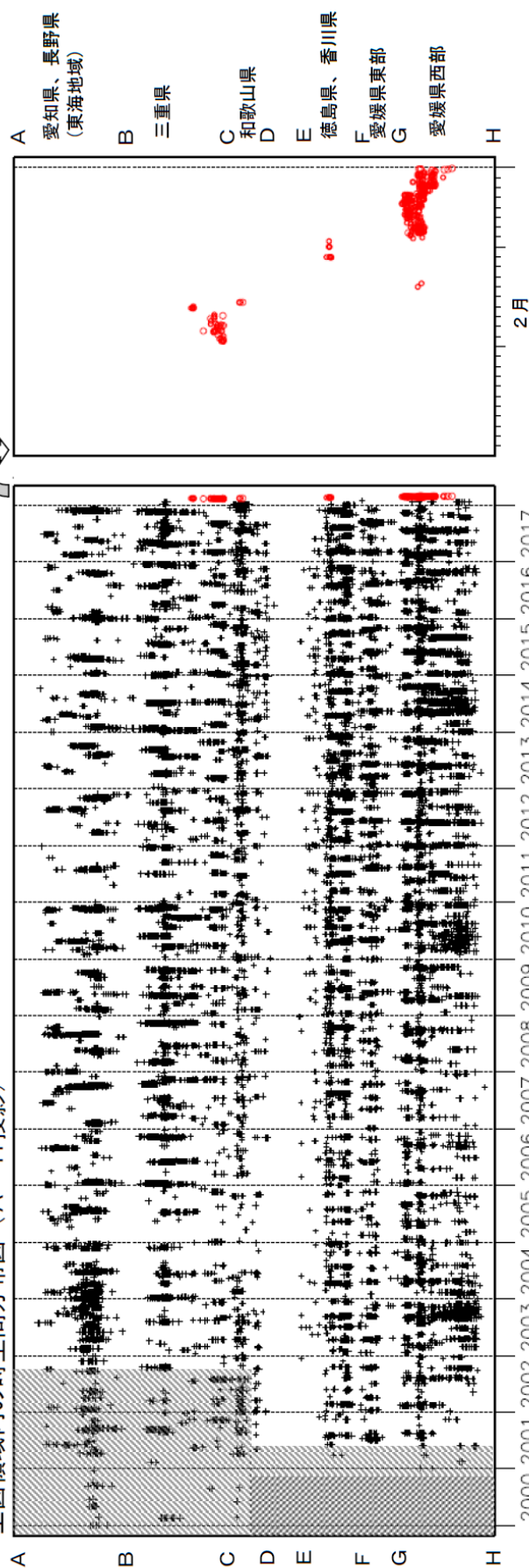
深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

深部低周波地震活動（2000年1月1日～2018年2月28日）



上図領域内の時空間分布図（A—H投影）

（2018年2月1日～2月28日）



2月

※時空間分布図中、網掛けした期間は現在と比較して十分な検知能力がなかったことを示す。

気象庁作成

気象庁作成

図2 深部低周波地震活動（2000年1月1日～2018年2月28日）